



## PET-CT 依頼書

フリガナ		検査薬 FDG の量は体重で決まります	
患者氏名 (漢字)		身長	cm 体重 kg
性別	男 ・ 女	医療機関	
生年月日	年 月 日	診療科	
連絡先 ※日中、連絡のとれる連絡先をご記入ください	[携帯] — —	主治医 ※フルネームで ご記入ください	
	[自宅・勤務先] — —		
保険病名 ※該当項目に☑病名をご記入ください。	<input type="checkbox"/> 悪性腫瘍： 病名 ( ) ※早期胃がん以外の悪性腫瘍は保険適応です。		
	<input type="checkbox"/> その他の疾患： 病名 ( ) ※てんかん、血管炎（高安動脈炎、巨細胞性動脈炎）、心サルコイドーシスは保険適応です。		
	<input type="checkbox"/> 自 費： 病名 ( ) ※上記以外（保険適応の病名でない方）、検診目的などは自費となります。		
依頼目的	(現病歴、治療歴、腫瘍マーカーの推移、既往歴など、出来るだけ詳細にご記入ください)		

検査前確認事項（該当する箇所に○印をご記入ください）

[告知の有無] 無 ・ 有 ※必ずご記入ください

[移動手段] 歩行 ・ 車椅子 ストレッチャー [排泄] 自立 導尿 オムツ 人工肛門

(車椅子・ストレッチャーの患者さんは状態により医療従事者またはご家族の同伴をお願いする場合があります)

[糖尿病] 無 ・ 有 (内服： インスリン： )

[現在の状況] 通院 ・ 入院中 (持続点滴： 無 ・ 有 )

[ペースメーカー] 無 ・ 有 (Thera-I, InSycm8040 ・ それ以外 ・ 不明 ) 手帳のコピーを FAX してください

[閉所恐怖症] 無 ・ 有 (鎮痛剤： 不要 ・ 要 ) [妊娠の可能性] 無 ・ 有

[感染症] HBV ( ) HCV ( ) HIV ( ) その他 ( )

神戸低侵襲がん医療センター 地域医療連携室 平日 8:30~17:00 TEL:078-304-5480 FAX:078-304-7782

検査予約日時： 年 月 日 時 分

※当日は上記予約時間の 30 分前 に来院してください。



## PET-CT 検査予約用紙（検査をお受けになる方へ）

**来院時間** 検査予約時間の 30 分前 に 2 階総合受付にお越しください。

### ご注意

1. 完全予約制となっています。予約時間に遅れないようにお越しください。
2. ご自身の都合でキャンセルされる場合は、主治医に相談をして、主治医から直接キャンセルの連絡を頂くことが原則となっております。  
この場合、キャンセル料が発生することがあります。あらかじめご了承ください。
3. 糖尿病以外の医師から処方された常備薬は服用していただけます。
4. 検査前日は、筋肉に負担のかかる運動などは控えてください。
5. 当日は、ボタン・ファスナーのない肌着を着用してください。
6. 精密機械による検査となります。機器の都合上、予定通りに検査ができないことや、延期させていただく場合もありますのでご了承ください。

**絶食開始** 検査予約時間の 6 時間前 から絶食してください。

絶食開始後も水やお茶は飲んでもかまいません。

但し、糖分を含むスポーツ飲料・あめ

ガム（シュガーレス表記のものも含む）・糖質入りの点滴は不可

**所要時間** 検査には 2 時間半～3 時間 かかります。

**受付場所** 神戸低侵襲がん医療センター 2 階 総合受付

電話番号：078-304-4100（平日 8：15～17：00）

### 持参するもの

1. 主治医からの紹介状・CD-ROM（ある方のみ）
2. 保険証
3. 検査費用
4. お薬手帳または説明書
5. 必要な方は、ペースメーカー手帳、ストマ用パウチの予備、痛み止め、咳止め、ウィッグの代わりの金属類のない帽子

ご不明な点につきましては、PET-CT 室看護師までお問い合わせください。





## PET-CT 検査に関する説明書（必ずお読みください）

### 1. ポジトロン放射断層撮影 CT (PET-CT) 検査について

この検査は、放射性同位元素 (F-18) で標識されたフルオロデオキシグルコース [18F] FDG という薬剤を静脈注射した後に撮影を行って体内の糖代謝能を見ることにより、主のがんを診断する検査です。

### 2. 検査の安全性と危険性について

この薬剤による副作用の心配はありません。PET-CT 検査 1 回の被ばく量は胃透視約 1~2 回分です。この線量で放射線障害が起きることはありません。(ただし、妊娠されている方は検査ができません。)

### 3. PET-CT 検査を受けるにあたり次の点をご理解ください。

◆FDG は、糖代謝の盛んな脳、心臓、肝臓に強く集積します。また尿から排出されるので、腎臓や尿管、膀胱にも集積します。胃や大腸にも生理的集積が見られる場合があります。このため、これらの臓器の診断は難しくなります。

◆FDG は、がんだけでなく肺炎などの炎症や甲状腺腫、大腸腺腫などの良性疾患にも集積します。

◆血糖値 150mg/dl を超えると腫瘍への FDG 集積は低下し、検出がしにくくなります。検査直前に血糖の測定を行います。この時点で血糖値が高い場合は診断能が低下します。

◆撮影後、場合によってはさらに 1 時間後にもう一度撮影することがあります。その場合は、放射線技師から患者様に直接お伝えします。

## 糖尿病の場合の注意事項

● 検査への影響：検査に使用する薬[FDG]は、ブドウ糖に類似した薬剤であるため、血糖値などの体の中の糖分の状態によって影響を受けることがあります。糖尿病などで血糖値の高い状態で FDG-PET 検査を施行すると、病変が検出できにくくなることがあると言われてしています。ただし、そのような状態でも癌（悪性腫瘍）などの病変への薬の取り込みが消えることなく、実際の診断への影響の程度については未だ明らかになっていません。

● 血糖値：これまで判明している限りでは、糖尿病であっても検査時の血糖値が 200mg/dl 以下であれば、検査に大きな支障はないと考えられています。血糖値が 200mg/dl 以上となるような、特に血糖値の高い場合には、病変が見つかりにくくなる可能性があり、検査を延期して糖尿病の治療を十分に行ってから検査を受ける方が良い場合があります。ただし、検査を受けられる方の状況にもよりますので、検査当日の血糖値が 200mg/dl 以上であった場合にはあらためてご説明いたします。

● インスリン：血糖値が高いことと共に、血中インスリン濃度も検査に影響します。血中インスリン濃度が高いと、病変以外への FDG 分布が増え、やはり病変がわかりにくくなります。血糖値が 200mg/dl 以上であっても、約 6 時間前から検査までにインスリンは使用しないでください。

● 検査前の注意：約 6 時間前から絶食してください。糖尿病の内服薬（血糖降下剤）やインスリンの注射は、検査 6 時間前から検査終了まで禁止です。絶食中に、低血糖発作のためやむを得ずブドウ糖を摂取した場合も、正確な結果が出ないことがあります。当日内での時間変更や日時変更の必要があることかがありますので、摂取後は速やかに当院「地域医療連携室」までご連絡ください。

ご不明な点は「地域医療連携室」までお問い合わせください。

神戸低侵襲がん医療センター 地域医療連携室 平日 8:30~17:00

TEL: 078-304-5480 FAX: 078-304-7782